UCHIナビ

大仙市立内小友小学校

「『あい』ある学校」「楽しい学校」実現のために　　2018 年 5 月

教育目標

にこにこ きらきら ゆめにむかって～みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力～

きらきら光る学校

- ○ 高め合う教師がいる学校
- ○ 伸びようとする子どもがいる学校
- ○ 信頼される学校
- ○ 生きる力を育む学校

きらきら光る子ども

- ○ 思いやりのある明るい子ども
- ○ ねばり強くやり遂げようとする子ども
- ○ 進んで学習に取り組む子ども
- ○ 郷土を愛する心豊かな子ども

きらきら光る教師

- ○ 子どもとのふれ合いを大切にする教師
- ○ わかる・できる・楽しい授業を創造する教師
- ○ 信頼と協調を大切にする教師
- ○ 心身ともに健康で明るい教師

「UCHIナビ」は，内小友小教育の方向性を示すものです。

児童，職員，保護者が共に内小友小を心から愛し，認め合い，励まし合い，支え合い，高め合い，「内小友小でよかった」と心の底から思えるような「あいある学校」，そして「楽しい学校」の実現を目指します。

- 校長　平田 尚之

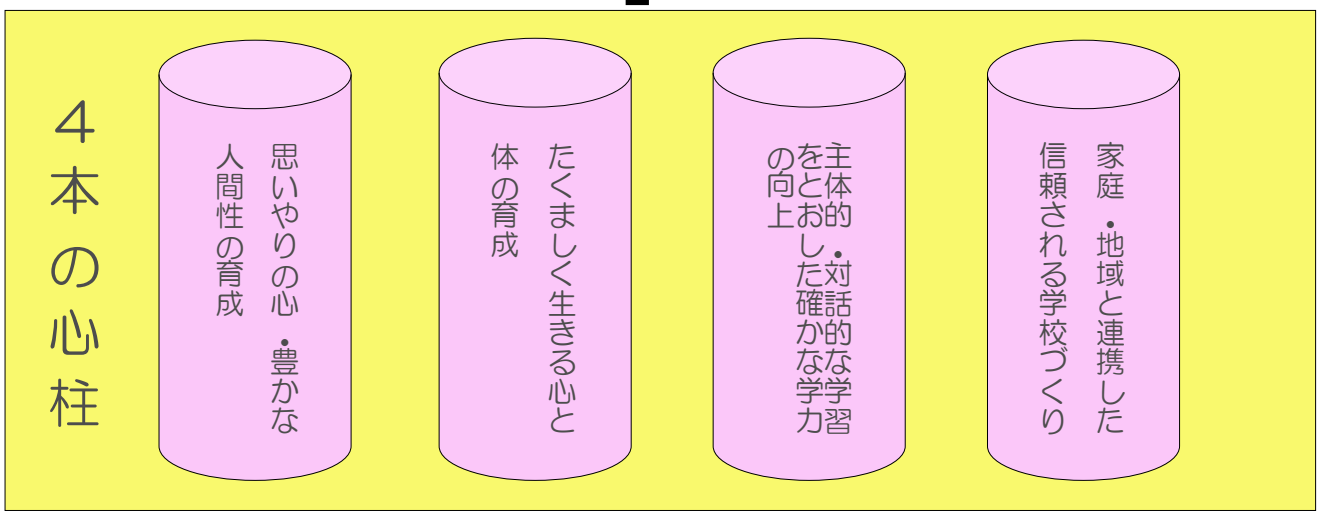
大仙市立内小友小学校

- H30グランドデザイン
- 到達目標・具体的施策・到達指標
- みんなの目標
- 職員の目標

平成30年度内小友小学校グランドデザイン

にこにこ　きらきら　ゆめにむかって
～みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力～

「あい」ある学校　～認め合い，話し合い，学び合い，高め合い～



1　思いやりの心、豊かな人間性の育成のために

○ 縦割り活動で集団の一員としての自覚をもたせ，学習や行事で自他のよさを活かす認め合う活動の充実を図ります。
○ 読書習慣の形成のために，本貯金や年間多読賞の設定など，全校での読書活動を推進します。
○ ふるさと博士認定制度を活用し，ふるさとのよさを伝える活動の充実を図ります。

2　たくましく生きる心と体の育成のために

○ 児童会によるあいさつ名人選出や小中連携の「あさがお運動」を推進し，明るいあいさつができる児童を育てます。
○ 業間運動や外遊びの励行などをとおし，体力づくりの習慣化を図ります。
○ 心身ともに健康で，毎日元気に登校する児童を育成します。

3　主体的・対話的な学習をとおした確かな学力向上のために

○ 児童の意欲を高める授業を支える環境づくりに努めます。
○ チャレンジテストや家庭学習を充実させ，一人一人の基礎学力を向上させます。
○ 話したい・聴きたいという思いをもって，主体的に話し合おうとする意欲を高める授業を通し，児童の表現力を高めます。

4　家庭・地域と連携した信頼される学校づくりのために

○ 思いを伝える情報発信に努め学校公開を推進し，地域に開かれた学校を目指します。
○ 児童の基本的生活習慣や学習習慣の確立のために，学校と家庭の指導の連携を図ります。
○ 地域の教育力を活用したふるさと教育の充実を図り，ふるさとを愛し誇りに思う児童の育成に努めます。
　～地域で　地域を　地域から～

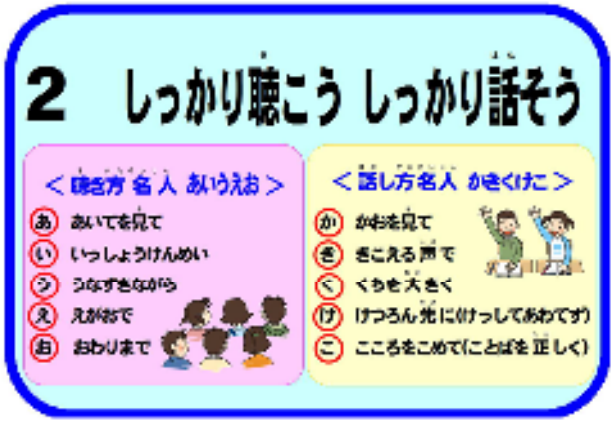
最重点課題：「自己有用感に裏付けられた自尊感情の醸成」

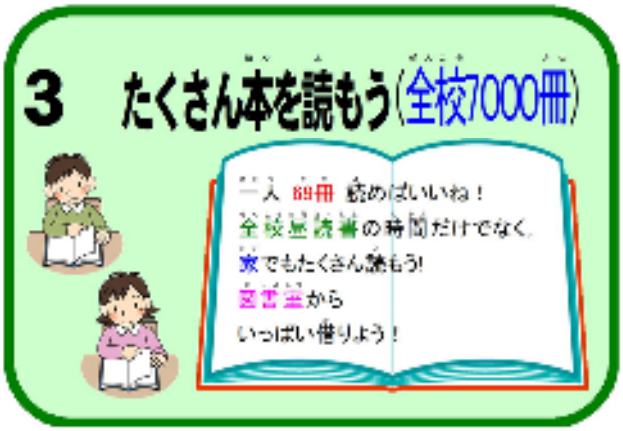
○「褒めるより認める」（一人一人のこだわりや努力を見取り言語化する）を共通実践します。
○ 学年や学団で挑戦する課題やテーマを設定し，成し遂げたときの成就感や充実感を経験させます。

平成30年度　到達目標・具体的施策・到達指標

	到達目標（今年）	具 体 的 施 策	到 達 指 標	
思いやりの心、豊かな人間性の育成	集団の一員としての自覚をもたせ，自他のよさを活かす認め合う活動の充実	・縦割り班で行う行事での「めあてカード」の導入	・児童アンケートの「行事や縦割り活動にめあてをもって参加している」3.6以上（4段階評価） ・児童アンケート「自分のよさや友だちのよさを見つけている」3.6以上（4段階評価）	豊かな心チーム　斉藤・小田島・渡辺）
		・縦割り班担当と学担が連携した認め合い活動		
		・学級や行事の中での「認め合いの場」の設定		
		・大曲支援学校との交流の充実（ハローの会）		
	読書活動の推進	・本貯金ファイルを活用した読書の記録	・全校児童総読書冊数7000冊以上 ・児童アンケート「読書に親しんでいる」3.6以上（4段階評価）	
		・年間多読賞の表彰		
		・昼読書での物語本読書の励行		
		・ぽけっとさんによる読み聞かせや交流		
	ふるさとのよさを伝える活動の充実	・ふるさとのよさを伝える観点からの行事内容の見直し （田植え・稲刈り，そば作り，ホタルの里，花火の里クリーンアップ，地区民運動会，学習発表会，祖父母参観，収穫感謝祭）	・児童アンケート「地域の場所や人とふれあい，内小友のよさを感じている」平均3.6以上（4段階評価）	
		・市ふるさと博士への積極的な参加		
たくましく生きる心と体の育成	あいさつの励行	・児童会によるあいさつ名人の選出	・児童アンケート「元気なあいさつをした」3.6以上（4段階評価） ・保護者アンケート3.5以上	健やかな体チーム　長塚・梅川・佐々木）
		・あいさつ集会の実施		
		・あさがお運動の推進（小中連携）		
	体力づくりの習慣化	・業間運動（マラソン・ラダー・縄跳び）の継続→年間ポイント制	・マラソン年間目標（低：10km　中：16km　高：20km）達成率70%以上	
		・児童会による外遊びの励行		
		・栄養士さんによる食育指導（全学級）		
	元気に登校する児童の育成	・健康貯金の継続	・「全校欠席０の日」年間70日以上	
		・月の重点事項の周知徹底（内小ファイト）		
		・個人面談を活用した不登校児童の早期発見と早期対応		
主体的・対話的な学習をとおした確かな学力の向上	児童の意欲を高める授業を支える学習環境づくり	・1時間のゴールや児童の考えが視覚化された板書	・学習アンケートで「授業で取り組むことや勉強したことが分かる」と回答する児童75%以上	確かな学力チーム　森元・佐藤智・菊池）
		・ポイントを押さえ，児童が活用できる学習コーナーの設置		
		・図書館と連携し，授業内容に合わせた図書コーナーの設置		
	基礎学力の向上	・チャレンジテストに向けたプリント学習の実施	・チャレンジ合格者率80%以上 ・保護者アンケート「家庭学習の様子がよい」が70%以上	
		・家庭学習コーナーを活用した，よりよい学習内容の提案と指導		
	話したい・聴きたいという思いをもって，主体的に話し合おうとする意欲を高める授業づくり	・児童自ら考え，話し合うことができる学習課題（問題）の提示	・「進んで学習課題に取り組むことができた」児童80%以上 ・「自分の言葉で話す」「友だちの考えを分かろうとして聴いた」児童80%以上 ・教師アンケートの「話す・聴く」で平均2.8以上（4段階評価）	
		・単元や一時間の中でのねらいにつながる話し合い活動の意識的な位置付け（Think-Pair-Share法，KJ法，ジグソー型の実践）		
		・学年に応じた聴き方，話し方の指導		

平成30年度　みんなの目標





「担任力」のある職員づくりを進めます

- ○ UDの視点による授業づくりや学習習慣の指導等に全職員が同一歩調で取り組みます。
- ○ 担任の思いや願いを保護者に伝え，共通理解のもと協働して子どもたちを育てるために，心のこもった仕事に努めます。
- ○ 教員同士が日常的に授業や学級経営などを語り合う職場風土や環境づくりに努めます。
- ○ 個々のもつ教育技術の共有化を図り，一人一人の教師としての力量を向上させます。

「担任力」とは

「学習指導力」「生徒指導力」「特別支援教育力」の３つを統合して，授業を核とした学級，学年，教科経営を行っていく力のことです。

内小友小教師の合い言葉　～「UCHIOTOMO PASSION」～

大仙市立内小友小学校

〒014-0073 秋田県大仙市内小友字四ツ村35番地
Tel 0187-68-2345　Fax 0187-86-4041
E-mail : om-uchisyo@edu.city.daisen.akita.jp